

- 松山 洋, 2001: ゴスタブラジル? (9) こんにちはは幸ちゃん, さようならおじ様, 地理, 46(6), 69-76.
- Matsuyama, H. and K. Masuda, 1997: Estimates of continental-scale soil wetness and comparison with the soil moisture data of Mintz and Serafini, Clim. Dyn., 13, 681-689.
- Miranda, L. and L. Amorin, 2001: Mato Grosso: atlas geográfico, Entrelinhas, 41 pp.
- 中村太士, 1999: 流域一貫～森と川と人のつながりを求めて～, 築地書館, 138 pp.
- 中隅哲郎, 1990: パンタナール, 無明舎出版, 259 pp.
- 重松文治, 2000: GPSのSA解除について, 測量, 50(8), 50-52.
- 富田邦裕, 松山 洋, 1996: 簡易型 differential GPSの開発と実用性の検討, GIS-理論と応用, 4(2), 15-27.

国際学術研究集会への出席補助金受領候補者の募集のお知らせ

—国際学術交流委員会—

日本気象学会細則第7章「国際学術交流」に基づき、国際学術研究集会への旅費もしくは滞在費の補助を下記により行いますので、希望者は期日までに応募願います。

記

1. 対象の集会

- A: 2002年6月1日～2002年11月30日および
B: 2002年12月1日～2003年5月31日の期間
外国で開かれる国際学術研究集会

2. 応募資格

日本気象学会会員で国際学術研究集会に出席し論文の発表もしくは議事の進行に携わる予定の者。ただし、他から援助のある者は除く。
なお大学等の研究を本務とする機関で定職に就いている者で、複数回の助成は原則として認めないこととする。また大学院生の場合は、原則として修士2年程度の研究実績を要するものとする。

3. 募集人員

若干名

4. 補助金額

開催地域を考慮し最高15万円程度

5. 応募手続

所定の申請書類を期日までに国際学術交流委員会(〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁内日本気象学会気付)に提出する。大学院生は指導教官の推薦状を併せて提出する。

期日 A: 2002年3月15日

B: 2002年9月15日

注: 申請書は最新の様式のものを用いて日本気象学会事務局から取り寄せるか、気象学会ホームページにあるものを使用すること。申請書の様式は断りなく変更することがある。古い様式の申請書で応募しても受理しない。

また e-mail での申請は受け付けない。

6. 補助金受領者の義務

当該集会終了後30日以内に集会出席の概要を「天気」に掲載可能な形式で1ページ(2000字)程度にまとめ、報告書として委員会に提出する。